

ほぼ月刊
CHC

これこれ新聞

NPO コレクティブハウジング社 (CHC) オンライン

<http://www.chc.or.jp/>

お問い合わせは、03 - 5906 - 5340 または、info@chc.or.jp まで

月刊これこれ新聞

定価 200 円

定期購読 1,980 円 (年間/送料別)

CHC 最新活動ニュース

NPOコレクティブハウジング社 総会を開催

安定化に向けて事業の集中と実践を

【1】第14期定期総会が終了しました

去る6月22日(日)豊島区目白第二区民集会室で、第14期定期総会を開催しました。

正会員は出席者15名(委任状8名で計23名/総正会員数26名)、傍聴者2名の参加を得て、口の字に席を囲んでの充実した会となりました。

今年は目白事務所の2軒隣にある会場だったため準備はとてもスムーズにいきまじし、初めての方でも迷わず来ていただけて良かったです。

まず、2013年度を振り返って、事業報告と決算報告を行いました。

各プロジェクトの報告としては、

- ・タウンコレクティブの試行「エコダハウス」のオープン
- ・東北支援の状況と今後
- ・今までの講座を整理したり新たにプログラムを組み立て見える化した「コレクティブハウジング入門→コレクティブハウジング講座→コーディネーター養成講座」という流れと各々の成果

等を重点的に行いました。

大きな課題としては、事業主や居住希望者に対してコレクティブハウジングの魅力を伝える訴求力が不足しており、新事業を展開できなかつたり、空き住戸が目立つハウスがあることを確認しつつも、様々な事柄で、サービスを受ける側とサービスを提供する側に別れてしまっている今の世の中に対して、CHCが、その別れてしまっている壁を壊そうと尽力していることを、出席者一同、改めて確認できたことは大きな成果でした。

決算では、数字的には黒字であるが、経営はかなり厳しく、何と云っても、稼働中の事業がないことが大きな痛手になっています。東北支援の助成金収入700万円が一番高額の収入ですが、プロジェクトの経費として使用するだけのためCHCの収入とはならず、既存ハウスの運営支援の収入は、経常的に安定している収入ではありますが、まだまだ金額が少なく、次年度以降、着々と新しい事業を立ち上げていかれないと、依然として経営は厳しいままと云えます。

次に、2014年度の事業計画と収支予算計画について審議を行いました。



(続き..)

今年度は特に、できること、やるべきことに集中していくために、できないことを掲げることは避け、何度も理事でミーティングを重ね着実に実行するための計画を心がけました。

そして、経営状態が厳しい中、共有する基礎情報としてこの10年の見通しを作成し、これを基に、正会員の皆さんにも協力していただいて、着実に活動を進めていきたいという思いで、14年度の計画を提案いたしました。

今年度は、安定化に向けて事業化に集中します。中長期の見通しでは、一年にコレクティブハウス1棟を実現すると、2022年にコレクティブハウスが10棟になり、ようやく安定化します。丁寧に暮らしを創りだすというコレクティブハウスの考え方を提案しつつ、事業に至る仕組みを何種類か用意し、親和性の高いと思われる相手に絞って具体的な営業活動を行っていきます。

また、現在あるハウスの居住者支援をより活性化し、複数人チーム体制による支援を行いコーディネートの質を高め、支援のノウハウを見える化すると共に、講座を通じて認定コーディネーターを育成します。さらに、居住希望者の増加や、空室への入居者募集についても、元総社を含めコレクティブハウス全体のこととして啓発、営業、広報していきます。

事業に集中すると共に、人材育成を本格化する年となります。予算計画としては、事務局の支出を抑えつつ、コレクティブハウジング事業のみならず講座での収入を見込みます。会員の皆さまにも、事務所を大いに活用していただき、事務所維持にご協力いただきたいと思います。

会場からは、NPOとして事業展開していくことは難しいことではあるが、公的な住宅でできないところをCHCがやるということではなく、また、作る人と住む人とが分かれている現状を打開し、新しい住まいに関する問題提起をする動きをつくっていくために、つくる側と住む側が共に歩んでこそ思っている、という意見がありました。

さらに、「10棟建てる目標は、あくまでも住みたい人が増えるという目標である。第1号であるかんかん森ができてからだいぶ時も経ち、これまでの課題や振り返りをまとめたら、それこそがCHCの価値となろう。タウンコレクティブは、おまけでなく、社会にとって重要なことなのではないか。暮らしと社会がつながることは大切。だが、社会的に価値があるという外からの理由で暮らしの中に組み入れようとすると、それは住まい手にとって負担になってしまうため、バランスが必要。」という、CHCの活動、ご自身の本業、住まい手の経験が合わさってのご意見は、今後の活動の方向性に示唆的なものでした。

総会後も、一次会、二次会と、熱い議論は夜遅くまで続きました。

ご出席の皆さま、ありがとうございました。

大変お疲れ様でした。

【2】新年度の人事体制

今年度の人事体制は、以下のとおり、総会にて承認されました。

■理事

(継続)

伊藤 直子
大橋 徹平
奥山 竜一
狩野 三枝
西澤周一郎
宮前 眞理子
宮本 諭
矢田 浩明

■監事

(継続)

渡辺 喜代美
(新任)
姫野 亜紀

◎共同代表理事

伊藤 直子
宮前 眞理子
宮本 諭



(退任)

川上 英里
姫野 亜紀

今総会では、長く理事を務めてきた姫野理事が理事を退任し、新たに監事に就任、川上理事が、新しい道に進むため退任となりました。

今年度は、上記のような体制で、安定化に向けて事業に集中し、着実な活動に取り組んでいく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

(終わり)

人材募集！ あなたのやる気、専門知識を活かしませんか？

NPO コレクティブハウジング社では、活動に協力してくれる人材を募集しています。info@chc.or.jp まで